

MANAZURU

議会だよりまなづる

No.65

2019年(令和元年)

11月1日発行



真鶴町絵画コンクール展
町議会議長賞 松平 佑さん作品

C 目次 ontents

9月定例会	2～13P
一般質問	14・15P
審議結果	16・17P
委員会等報告等	18～20P
10月臨時会・審議結果	21P
ご挨拶・委員会構成表	21・22P
意見書	23P

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1

電話0465-68-1131(内線360)

info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会

編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

9月定例会

9月3日～13日
9月定例会開催

9月定例会は、決議・任命・選任・締結・条例の制定・補正予算・決算の認定等の審議が行われました。

となるため同氏を再任しました。

手 工事請負契約の締結について（令和元年度岩牡蠣出荷施設整備工事）

全員賛成

岩牡蠣出荷施設整備工事の請負契約の締結に当り、議会に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例2条の規定により議決しました。

手 決算審査特別委員会設置に関する決議について

全員賛成

平成30年度全会計の決算を審査する決算審査特別委員会を委員数6名で設置しました。

手 教育長の任命について

全員賛成

牧岡努氏の任期が満了となるため同氏を再任しました。

手 真鶴町固定資産評価審査委員会委員の選任について

全員賛成

青木宏氏の任期が満了

れるのですか。

産業観光課長 産廃等の必要があれば検討します。

青木健 養殖の岩牡蠣の殻が落ち、網にかかり、コンテナ2杯ぐらいになり、困っている現場を確認しました。一般ごみとして出せるのか、海洋投棄が可能なのか調べてください。

産業観光課長 明らかに岩牡蠣の殻が出たものについてはお金をかけてでも、処分しなければならぬと思います。

天野 海水取水管の素材は何ですか。

産業観光課長 硬質ポリ塩化ビニール管です。

天野 耐用年数は何年ですか。メンテナンスのコストについてはどう考えていますか。

産業観光課長 メンテナ

ンスは毎年シーズンごとに行い、費用については基本的に事業者の負担になるものと考えます。

黒岩 建物は町のものになると思いますが、事業者に貸し付けるのですか。

産業観光課長 今後、条

例を整備する中で、新たに地域商社の設立を考えたおり、使用料を徴しながら、事業者が使用します。

黒岩 建物の完成予定は令和2年3月ですが、本格出荷の時期はその時期になるのですか。

産業観光課長 完成後の計画は、試験養殖をしていた部分について宣伝を兼ねて外へ出していき、本格出荷は令和3年度の春を考えています。

総務課長 規模は従業員736人、資本金57億5300万円、実績は官公庁的な部分です。

青木健 分散型エネルギー設備の導入についての実績はあるのですか。

総務課長 この事業については初めてです。

青木健 真鶴町が初めてということですか。

総務課長 そのとおりです。

青木健 補償期間は何年ですか。

総務課長 基本的に1年ですが、この機器に関しては、遠隔操作によるものですが、点検・メンテナンスが15年で、すべて契約の中でやるということとです。

青木健 情報センターは自家発電装置があるので

真鶴町民俗資料館の運

情報センター

真鶴町民俗資料館案

例の制定について

全員賛成

真鶴町民俗資料館の運

情報センター

真鶴町民俗資料館案

例の制定について



岩牡蠣養殖現場



工事請負契約の締結について（情報センター真鶴自立・分散型エネルギー設備導入事業）

賛成多数

情報センター真鶴自立・分散型エネルギー設

備導入事業の請負契約を締結するに当り、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例2条の規定により議決しました。

青木健 契約相手の会社規模・資本金・実績を伺います。

総務課長 規模は従業員736人、資本金57億5300万円、実績は官公庁的な部分です。

青木健 分散型エネルギー設備の導入についての実績はあるのですか。

総務課長 この事業については初めてです。

青木健 真鶴町が初めてということですか。

総務課長 そのとおりです。

青木健 補償期間は何年ですか。

総務課長 基本的に1年ですが、この機器に関しては、遠隔操作によるものですが、点検・メンテナンスが15年で、すべて契約の中でやるということとです。

青木健 情報センターは自家発電装置があるので

真鶴町民俗資料館の運

情報センター

真鶴町民俗資料館案

例の制定について

全員賛成

真鶴町民俗資料館の運

情報センター

真鶴町民俗資料館案

例の制定について

全員賛成

真鶴町民俗資料館の運

情報センター

真鶴町民俗資料館案

例の制定について

全員賛成

真鶴町民俗資料館の運

情報センター

真鶴町民俗資料館案

例の制定について

全員賛成

真鶴町民俗資料館の運

情報センター



情報センター



真鶴町民俗資料館案例の制定について

全員賛成

真鶴町民俗資料館の運

質疑応答

9月定例会

営に関し条例を制定しました。

天野 損害賠償について教育委員会が認めれば、全部又は一部を免除することができると言うことはどういうことを想定されていますか。

教育課長 資料館を損傷又は滅失したものとなっていますが、相手の瑕疵が見つからない場合について、賠償責任を負わないケースもあると考えます。

黒岩 「その他の資料館設置の趣旨にふさわしい事業を行う」としてありますが具体的にどんなものを想定されていますか。

教育課長 文化財保護・文化財活用の普及啓発をはかる資料展示等を積極的に進めていくべきと考えています。

岩本 観覧料を無料とした理由はなんですか。

教育課長 10月1日以降、現在のままの状態で開催し、形態も変更する予定はないので、無料でスタートします。

岩本 これから、設備の

メンテナンスをやりながら、観覧物が今以上に整備された時は有料になることも考えられますか。

教育課長 そのように考えています。

岩本 土屋家を無償で借りていたときは固定資産税はどうなっていましたか。

教育課長 免除です。

 **真鶴町看護小規模多機能型居宅介護施設**

の設備及び管理に関する条例の制定について

全員賛成

看護小規模多機能型居宅介護等を提供する施設を設置する条例を制定しました。

天野 利用料金はどのようなになっていますか。

健康福祉課長 介護保険法に基づく利用料となっています。

黒岩 看護小規模多機能型居宅介護施設は、高齢化が進む真鶴町にとって、今後どのような役割を果たしますか。

健康福祉課長 在宅でい

つまでも暮らしていけるサービスの展開や診療所と中の建物の一部を利用することで、医療との連携が非常に出来やすく、真鶴ならではの特色的なサービスになります。

青木 宿泊サービスの利用定員の9人の根拠はなんですか。

健康福祉課長 地域密着型の場合、最大は29人以下で、1日の定員が18人以下、泊まりは18人の2分の1以下で、9人以下となります。

 **真鶴町訪問看護ステーション**

の設置及び管理に関する条例の制定について

全員賛成

疾病、負傷等により継続して療養を受ける状態にある者の家庭における療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図るため、訪問看護ステーションを設置する条例を制定しました。

黒岩 現在、診療所の医師が往診をしています

が

訪問看護ステーションが出来た事でどのようなになるのですか。

健康福祉課長 医師の在宅訪問は医療法の中で実施しているわけですが、訪問看護ステーションを設置することで、リハビリ、訪問リハビリも一緒に一体的なサービスの中で受けることが出来ます。

 **真鶴町印鑑条例の一部を改正する条例**

の制定について

賛成多数

住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令の公布に伴う旧氏表記及び証明書等自動交付サービスの運用開始に係る所要の改正をしました。

黒岩 10月からマイナンバーを持って、コンビニで印鑑証明など取れると言うことですが、お年寄りや障がい者にとって大変取り扱いも難しいし、個人情報漏えいなどの危険もあるのではないですか。

町民生活課長 マイナン

バーは漏れない体制がきっちりとしてられています。

町長 サービスがふえるのだからいいのではないですか。

黒岩 究極の個人情報であるマイナンバーをコンビニで証明を取るために使うこと自体に問題があります。箱根町のように取りやめているという自治体もあるので考慮すべきです。

 **真鶴地域情報センター**

1条の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

改正消費税法等の施行に伴う消費税及び地方消費税の税率の引き上げに対応するため、所要の改正をいたしました。

黒岩 10月からの消費税増税に伴い使用料を上げると言うことですが、情報センターを使っている団体には町民の自主的なサークルや趣味のサークルがあり、仲間同士で費用をかけず、苦労しながらやっているのが現状なので、消費税増税分を利用者に転嫁するのはいかなものかと思えます。

企画調整課長 適正な転嫁をする様にと国から指示が出ています。

黒岩 町民センターとか他の施設はどうなんですか。

教育課長 体育施設などはすでに外税と整備され、今回の改正はありません。

 **真鶴町税条例等の一部を改正する条例**

の制定について

賛成多数

地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、軽自動車等について所要の改正をしました。

青木 真鶴町の軽自動車種別割の税率を軽減される車の台数と減税される金額を伺います。

税務収納課長 グリーン化特例の台数ですが、75%軽減はありません。50%軽減は11台、25%軽減

9月定例会

は35台、合計で46台です。16万2300円の減額になります。

黒岩 軽減の対象にならないものは何台ですか。

税務収納課長 令和元年度7月現在で3輪以上の軽自動車は1698台あり、1652台が従前の課税となる計算です。

黒岩 グリーン化特例は10月から1年間のみと期限が限られていて、軽減の恩恵を受ける軽自動車は非常に少ない点についてどう考えますか。

税務収納課長 10月1日からの消費税の増税に伴うもので、国としては13年経過したものについては従来より高い税率をかけるので、燃費性能のよい排ガス基準をクリアしたものに買い換えることを推進するものです。国で決めたことなので仕方がないと考えています。



真鶴町立幼稚園保育料を廃止する条例の制定について

全員賛成

「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」の施行により、令和元年10月1日から幼児教育・保育が無償化となるため、幼稚園の保育料を徴収しなくなることから、廃止する条例を制定しました。

板垣 子育て世代への負担軽減になりますが、通園バス代はどうなりますか。

教育課長 バス使用料については、現在は利用者から寄付としていただいております。対象ではありません。



真鶴町国民健康保険診療所の診療報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

改正消費税法等の施行に伴う消費税及び地方消費税の税率の引き上げの対応及び診療報酬等の見直しを行なうため、所要の改正をしました。

黒岩 消費税の税率の引き上げによって、手数料

関係はどのような影響があるのですか。

町民生活課長 30年度の診療所の実績からみると、診断書については40件、複雑なものでは11件などがありました。



真鶴町岩漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

模範漁港管理規程の改正に伴い、所要の改正をしました。



真鶴町自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

改正消費税法等の施行に伴う消費税及び地方消費税の税率の引き上げに対応するため、所要の改正をしました。

黒岩 消費税引き上げによる駐車料金の引き上げはどのような影響がありますか。定期的に利用されていますが、利用者が少なく

なる懸念はありませんか。

総務課長 今の利用状況は湯河原町民が7割、真鶴町民が3割、1年半前までは湯河原町民が6割、真鶴町民が4割でした。利用者の影響については、定期等では多少上がっていますが一時利用は10円程度の上昇で大きな影響はないと思われます。



真鶴町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

改正消費税法の施行に伴う消費税及び地方消費税の税率の引き上げに対応するため、所要の改正をしました。

黒岩 消費税増税に伴う引き上げにより、全体として、その影響額はどのくらいになりますか。

まちづくり課長 23万7661円です。

【反対討論】

黒岩 10月から消費税を10%に引き上げることに

反対です。ポイント還元事業への参加率も店舗では全国的に、4分の1にとどまり、複数税率について、事業者、消費者の戸惑いも多く見られ、このまま増税を強行したら大混乱になるのではないかと思います。

実質賃金が8カ月連続前年同月比で減少し、年金は減り、増税前の食料品などの値上がりもあり、多くの町民の暮らしは生活を切り詰めてやりくりするしかないのが現状ではないでしょうか。

審議の中で情報センターの使用料・診療所の諸手数料・駐車場の駐車料金など消費税増税に伴う引き上げに反対して来ましたが、水道料金についても2%の増税分を町民に転嫁すべきでないと考えます。

真鶴町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

改正消費税法等の施行に伴う消費税及び地方消費税の税率の引き上げに対応するため、所要の改正をしました。

黒岩 消費税2%の引き上げ分は全体でどのくらいになりますか。

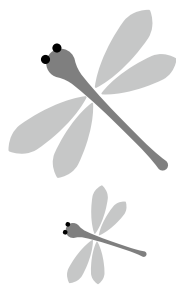
まちづくり課長 401万6505円です。

2号



令和元年度真鶴町一般会計補正予算（第2号）

全員賛成
歳入歳出それぞれ918万3000円を減額し、



量水器ボックス

質疑応答

9月定例会

予算の総額を40億170万円としました。

青木 蔵 防災無線整備の業務委託料と工事請負料が減額されましたが、初期の自動配信メール装置をやめた理由と自動配信メールの委託先とセキュリティの管理を十分にできる業者を選定しているのか、その経緯を伺います。

総務課長 当初は県から

防災情報が送信され、自動メール配信装置を設置して文字で配信する予定でした。しかし、神奈川県のセキュリティクラウドを接続しないと配信できないため、当町での配信装置の設置が困難となりました。新たな自動配信を設定するメリットは、町の多言語配信や観光情報の発信などが可能となります。今後委託する業者につきましては、詳しい内容を聞いた中で信用できる業者から確認を取り決定したいと思います。

青木 健 道路維持管理費の172号線の調査の内容と目的、完成時期を伺います。

います。

まちづくり課長 真鶴橋

を渡りちびっこ広場の上に抜ける道路途中の畦畔部分が崩れている場所の現況測量を行います。時期は今後調整していきます。

青木 健 まちづくり推進

事業の修繕は、用留小公園の鉄棒の修繕94万1000円、これは建て替えですか。

まちづくり課長 鉄棒の修繕はサンライズポイント小公園、用留小公園、宝性院ちびっこ広場の3カ所です。滑り台の修繕がサンライズポイント小公園、用留小公園の2カ所、使用不可となったものを修繕します。

青木 健 公債費の元金取



サンライズポイント小公園

引について額確定の前の借り入れから決算までの期間の償還額は決まっているはずですが減額補正する理由を伺います。

企画調整課長 借り入れた時に返済額元金と利子は確定することが常ですが、過疎対策事業債を活用した事業の中で衛生組合の事業費が確定してから起債を起こす関係があり、その分の確定ができないために減額補正しました。利子の確定につきましては、借り換えによる利率の変更が大きな理由です。

令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）

令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）

令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）

算（第1号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ4084万6000円を追加し、予算の総額を12億2584万6000円としました。

算（第1号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ239万円を追加し、予算の総額を1億2459万円としました。

令和元年度真鶴町下水事業特別会計補正予算（第1号）

令和元年度真鶴町下水事業特別会計補正予算（第1号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ1124万5000円を追加し、予算の総額を2億5074万5000円としました。

令和元年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴

特別会計補正予算（第2号）

賛成多数

歳入歳出それぞれ1219万8000円を追加し、予算の総額を2529万8000円としました。

天野 魚座開店準備負担金の100万円を店舗クリーニング代として新たな指定管理者へ支出するのはなぜですか。

産業観光課長 厨房機器の修理、電熱器の洗浄、排水管の清掃、フロアのメンテナンス、壁面やトイレの清掃、害虫駆除、不用品の改修等、全て運営する前に行っています。100万円を限度額として経年劣化した貸す前に行わなければならない箇所については協議により決定します。

令和元年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

令和元年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

保険事業は歳入歳出それぞれ5026万円を追

加し、予算の総額を9億2692万2000円とし、介護サービス事業は歳入歳出それぞれ42万4000円を追加し、予算の総額を6022万4000円としました。

令和元年度真鶴町高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

令和元年度真鶴町高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ118万3000円を追加し、予算の総額を1億2098万3000円としました。

決算成果概要説明

町長より財政規模は前年度に比べ増加していますが、施政方針に基づき「信頼で築く未来、美しく輝く町」をめざし、「ほほ笑みで支えあい、分かち合う地域社会」の実現に向けて取り組んだ成果について、一般会計他6特別会計・水道事業会計毎に説明されました。

9月定例会

監査報告

監査委員より平成30年度一般会計、6特別会計、水道事業会計決算についておおむね適正との報告がありました。一般会計については厳しい財政状況の中、町税をはじめ保険料、住宅使用料などの徴収体制を強化し、負担の公平公正の確保を図るよう強く望まれます。

国民健康保険事業については、取り巻く環境は依然として厳しい状況に置かれており、健全で効率的な事業運営に一層の努力が望まれます。

真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計については、前例を踏襲することなく常に事務事業の見直しを行い、行政改革のさらなる推進、他制度への活用、見直しを行い行政の簡素・効率化に一層の努力が望まれます。

水道事業については水源の確実な維持管理と、老朽管等施設の改良工事を継続的に実施していかねばなりません。そ

のためには、中長期の視野に基づいた計画を策定し、それに沿った施設の改修や更新を行う必要があり、安定した安心な水道水を供給できるよう切に望みます。



決算の認定について
(平成30年度真鶴町一般会計決算)

賛成多数

【歳入】

歳入総額は36億5601万9000円で、前年度対比1億568万4000円の増となりました。

森 個人町民税の現年課税分の納税義務者数、所得割と均等割りを伺います。

税務収納課長 所得割で3307名、均等割りで3984名です。

森 一人当たりの平均所得の対前年比を伺います。

税務収納課長 真鶴町の平均所得は273万7084円です。前年より1万4296円増えていますが、

森 滞納繰越分の内訳を伺います。

税務収納課長 前年度より94名減の131名です。**森** 土地の筆数を伺います。

税務収納課長 土地の筆数は1万403筆、家屋の棟数が4407棟です。

森 軽自動車税、原動機付自転車、小型特殊自動車の台数を伺います。

税務収納課長 軽自動車は1748台、原動機付自転車は783台、小型特殊自動車は14台です。

森 滞納繰越分を伺います。

税務収納課長 53台です。

青木健 個人の収入未済額。現年分665万5863円と滞納繰越分の1986万4839円の人数と収入未済になった理由を伺います。

税務収納課長 現年分については131件です。

滞納繰越分については215件分です。特別徴収に切り替えています。差し押さえしてもなかなか換金できない状況です。しかしながら不動産2件

を県との共同公売で実施しました。

青木健 滞納の常習者は何名いますか。

税務収納課長 100万円以上の滞納者は43件です。

青木健 地方消費税交付金ですが補正で500万円減額しています。この理由と支給月を伺います。

企画調整課長 消費が冷え込むのではないかと、いうことで減額しましたが思ったよりも冷え込みませんでした。支給月は6月、9月、12月、3月の4回です。

青木健 特別交付税の1億7800万円の主なものを伺います。

企画調整課長 一番大きなものとして下水道の事業費、国保事業、衛生組合事業のカドミウム対策事業費として申請し交付されました。

青木健 児童福祉費負担金。入所児童徴収金の滞納繰越分は何名分滞納された理由を伺います。

健康福祉課長 滞納は4名、全部で22期分です。

1件は家庭の事情で保護者が体調を崩したことによるものです。

青木健 道路等改修費負担金。これはどちらになりますか。

まちづくり課長 うさぎ沢地区から真鶴地内に雨水排水が流入するため水路の改修事業に要した経費です。

青木健 ふれあい農園使用料。10区画のうち何区画が利用されていますか。

産業観光課長 3区画です。対策として有害鳥獣被害が大変多くなっていますので農園の周りにワイヤーメッシュを張り巡らす計画です。

青木健 町営住宅使用料、駐車場使用料とそれぞれの滞納繰越分を伺います。

健康福祉課長 町営住宅滞納繰越分につきまして5件21期分、駐車場滞納繰越分は2件です。

分納誓約書を交わし滞納整理を行っています。

青木健 個人番号カード交付事業費補助金は執行収入済額の予算に対して39%ですが、その理由を

伺います。

町民生活課長 当初見込んでいた数値に比べ実数が少なかったことによるものです。

青木健 ひとり親家庭医療費助成事業補助金の対象者は何名ですか。

健康福祉課長 48世帯113名です。

青木健 小児医療費助成事業補助金の対象者は何名ですか。

健康福祉課長 192名が対象で町単独が301名です。

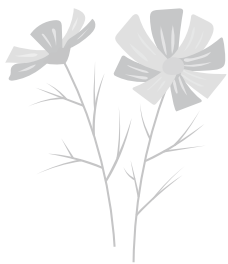
青木健 町有土地賃地料6337万3138円は何件分ですか。また収入未済額2340万1973円の内訳を伺います。

総務課長 宅地等も含めて102件です。滞納については1件の業者が過年度分として1600万円ほどあり全体の65%を占めています。この業者には現年度及び過年度分を毎年100万円ずつ納入して頂いています。

青木健 美術館図録等の売り払い収入の予算額の190万4000円は実

質疑応答

9月定例会



際の調停収入が164万5250円ですが収入不足した理由を伺います。
教育課長 30年度の入館者数が9655人で前年より1929人減少しました。ある程度の売り上げを見越して予算計上しましたが台風や悪天候が続き入館者が少なかったことが要因と考えています。

【歳出】

歳出総額は34億4517万2000円で、前年度対比1億7220万円の増となりました。
森 ふるさと応援基金事業の謝礼品の件数を伺います。
政策課長 223件です。
森 お試し暮らし体験事業の体験件数と、移住した件数を伺います。
政策課長 利用件数は14件、移住者数は2名です。
森 サテライトオフィス誘致事業の成果を伺います。
政策課長 サテライトオフィスの視察等を経て2件、テックラボ等へ入っていたいただきました。
森 生きがい事業団補助金の内訳と登録人数を伺います。
健康福祉課長 256万円に軽トラックのリース料を町が負担しています。256万円の2分の1が県からの補助金です。会員数は90名です。
森 畜犬登録事業の犬の登録数と猫の不妊と去勢の数を伺います。

町民生活課長 犬の登録件数は469頭です。猫の不妊件数は17件、去勢件数は15件です。
森 神奈川海岸美化財団清掃事業負担金134万6000円の実績を伺います。
町民生活課長 清掃回数は1年間で36回、ごみの回収量は18・6トンでした。
森 し尿汲み取り委託料の件数を伺います。
町民生活課長 対象世帯は93世帯です。
森 体育館運営費の中の修繕費の内容を伺います。
教育課長 女子トイレのドア、非常放送設備の修繕、浄化槽の流量調整槽フロートスイッチ取替工事を実施しました。
青木健 町有土地賃地料の湯河原町補填金226万2834円の算出根拠と支出根拠を伺います。
総務課長 現在埋め立て事業等を行っています。
 この中に湯河原町の土地もあり持ち分割合に応じて湯河原町へ補填をしています。按分割合は真

鶴町の持ち分が100分の65で100分の35が湯河原町と真鶴町200分の125で湯河原町が200分の75の土地の持分を補填しています。
青木健 松くい虫被害対策事業費はいつから始まりましたか。また現在までの費用対効果と松の本数を伺います。
産業観光課長 樹幹注入した際に本数は数えていますが変動があり平成30年度末で対象松は2489本です。対策をしていなければ松は壊滅していると思われる。
青木健 中小企業設備資金利子補給金の受給者数を伺います。
産業観光課長 41件分です。
青木健 商工会運営費補助金の商工会の加入者数、補助金の算出根拠を伺います。
産業観光課長 会員数は270。組織率80・8%です。各年度の事業費、事業計画に基づき補助しています。
青木健 産業振興祭助成

金で150万円支出していますが総事業費に対する割合と根拠を伺います。
産業観光課長 この事業は神奈川県振興協会からの助成金です。30年度豊漁豊作祭で612万2250円かかっていてこの実績に対する助成として支出しました。
 駅前交差点整備などで、これらは理解ができます。長期の地下街、改札口橋上化、など駅前周辺の大規模開発が記載され、相反する意見の「過剰な整備は不要、美の基準を尊重した身の丈にあったまちづくりの方向」が記載されています。この件についての私の質問に正式回答がないのは大変残念です。町道現況測量委託料は郵便局から生コンまでの道路拡幅工事を県の代行事業とするための準備測量と聞きました。隧道拡幅計画は119億円と試算され、まさに大型工事の開発計画になるのではないのでしょうか。②保育料について、28年度から30年度まで、国基準に合わせるため、激変緩和策をとりながら、段階的に引き上げています。30年度の引き上げは154万3800円で、少子化対策、子育て世代応援のため、引き上げは認められません。
 ③プレミアム付き商品券事業について、この事業

【反対討論】

黒岩 ①真鶴駅周辺グラウンドデザインについて、関係者協議や住民との討論会・パブリックコメント等を経て4地区のグラウンドデザインが冊子になりました。「グラウンドデザインはまちづくりの方向性を示す」ものとしていますが、「町が今後、具体的な事業として推進する際は参考にする」としています。真鶴駅周辺グラウンドデザインは、5年以内の短期、10年以内の中期、それ以降の長期と分けられています。短期においては、跨線橋南側エレベーター設置、駅前ロータリー調査や利用ルールの変更、中期では

9月定例会

は非課税世帯、3歳未満の子どもを持つ世帯に対象者を限り、商品券を2万円分購入した場合5千円分のプレミアムが付き、2万5千円分になるものです。期間も今年10月から翌年3月までの短期間と限定され、これでは、消費税増税に伴う低所得者と子育て世代に対する平準化対策になりません。

【賛成討論】

なし



決算の認定について
(平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定) 決算)

全員賛成

【歳入】

歳入総額は13億2770万4000円で前年度対比1億1679万4000円の減となりました。森 収入済額に対する世帯数を伺います。
町民生活課長 1400世帯になります。

森 介護給付分の被保険者数を伺います。

町民生活課長 730人が対象となっています。

森 滞納繰越分の滞納処分の実績を伺います。

町民生活課長 町税も含んで、全体でお答えさせていただきます。

預金で1件、生命保険で9件、年金で5件、給与で4件、不動産で5件です。

森 分納は何件ですか。

町民生活課長 最後に承認書というものをもっていまして24件です。

青木健 国保加入者一世帯当たりの平均納税額はいくらかですか。

町民生活課長 現年分と滞納繰越分を合わせた調定額となりますが、24万6043円です。

青木健 医療給付費分、現年課税分の収入未済額の件数を伺います。

町民生活課長 895件です。

青木健 雑入の一般被保険者第三者行為損害賠償金の件数を伺います。

町民生活課長 2件です。

【歳出】

歳出総額は12億5040万6000円で前年度対比5765万5000円の減となりました。

森 一般被保険者医療給付費分に係る被保険者数を伺います。

町民生活課長 2227名です。

森 疾病予防事業の生活習慣病予防事業委託料、これは、35歳の方が対象と思いますが、何人の方が受診しましたか。

町民生活課長 35歳検診の受診者は4名、社会福祉大会の保健事業参加者が126名でした。

海野 出産育児一時金で二人、2件と説明がありましたが、30年度中に二人しか生まれなかったという意味ですか。

町民生活課長 国保の加入者で出産された方が2名ということですが、

町民生活課長 国保の加入者で出産された方が2名ということですが、



決算の認定について
(平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定) 決算)

賛成多数

歳入総額は1億29万7000円で前年度対比811万9000円の増、

歳出総額は9890万5000円で前年度対比721万7000円の増となりました。

森 診療所の受診者数と初診者数を伺います。

町民生活課長 受診者数は1万4487名で、初診者数は1891名です。

森 受診者数は、前年に比べてどうですか。

町民生活課長 前年度に比べて1061名の増となっています。

海野 診療所の機器についての借り上げは、指定管理者と町とで、どのような決め方をしているのですか。

町民生活課長 診療所の機器につきましては、原則町が用意するものと診療所が独自で用意するものがあり、その都度負担については、協議をして決めています。

町民生活課長 診療所の機器につきましては、原則町が用意するものと診療所が独自で用意するものがあり、その都度負担については、協議をして決めています。



決算の認定について
(平成30年度真鶴町下水道事業特別会計決算)

全員賛成

歳入総額は2億1815万9000円で前年度対比880万7000円の増、歳出総額は2億1641万3000円で前年度対比934万9000円の増となりました。

森 下水道使用料の件数を伺います。

まちづくり課長 30年度3月の調定件数ですと284件です。

森 それに対する推移を伺います。

まちづくり課長 接続人口では、29年度は576人で、30年度では566人と10人ほど減っていますが、転出によるものです。

青木健 下水道使用料の滞納繰越の収入未済額46万9146円は何件分ですか。

まちづくり課長 8名分で、月数で173月分です。

青木健 今までの整備面

積と、この決算に基づいた整備面積と延長を伺います。

まちづくり課長 30年度末で24・45ヘクタールで、管の延長は7828メートルです。

青木健 接続率を伺います。

まちづくり課長 30年度末の接続率は34・6%です。

海野 下水処理負担金は湯河原町に処理してもらっている金額という意味でいいですか。

まちづくり課長 湯河原町に払っている下水処理の負担金です。

海野 そうすると、下水道使用料1274万円に對して、湯河原町に478万円払っているということですか。

まちづくり課長 湯河原町に下水処理負担金の支払いを下水道使用料で賄っているということではなく、一部起債の借入も含まれています。

まちづくり課長 湯河原町に下水処理負担金の支払いを下水道使用料で賄っているということではなく、一部起債の借入も含まれています。

まちづくり課長 8名分で、月数で173月分です。

質疑応答

9月定例会

決算の認定について (平成30年度真鶴町 真鶴魚座・ケープ真鶴特 別会計決算)

賛成多数

歳入総額は4093万9000円で前年度対比2055万1000円の増、歳出総額は3529万9000円で前年度対比1993万1000円の増となりました。

青木健 魚座の年間来客者数を伺います。

産業観光課長 30年度は2万2455人です。

青木健 2万2000人が魚座の食堂を利用されているとすると悪くないと思いますが。

産業観光課長 30年度の売上が4154万3000円ですが、前年度が5111万1000円で、1000万円ほど減少になっていますので、経営状況は厳しくなっています。

賛成多数

保険事業勘定の歳入総額は9億4541万3000円で前年度対比517万9000円の増、歳出総額は8億8021万4000円で前年度対比3015万3000円の増となりました。

介護サービス事業勘定 介護サービ

スの歳入総額は690万4000円で前年度対比29万4000円の増、歳出総額は544万4000円で前年度対比117万3000円の増となりました。

青木健 介護認定数、要支援から介護までの7段階の認定者数を伺います。

健康福祉課長 要支援1が53名、要支援2が62名、要介護1が109名、要介護2が89名、要介護3が65名、要介護4が80名、要介護5が31名、合計で489名です。

青木健 前年度との増減を伺います。

健康福祉課長 要支援1は7名の減、要支援2は4名の減、要介護1は17

名の減、要介護2は12名の増、要介護3の増減はありません。

要介護4は7名の増、**要介護5**の増減はありません。

青木健 介護保険料賦課徴収費の手数料の件数と単価を伺います。

健康福祉課長 賦課徴収費につきましては、特別徴収に係わる国保連合会への手数料や金融機関の振込手数料が含まれています。

国保連合会は2・6円で2995名分、振込手数料は農協が10円で155件、さがみ信金が10・8円で500件、郵貯が10円で226件です。

青木健 審査支払手数料の件数と単価を伺います。

健康福祉課長 1件当たりは41円で、述べ件数で1万1509件分です。

青木健 その他諸費の件数を伺います。

健康福祉課長 述べ件数で1339件分です。

決算の認定について (平成30年度真鶴町 後期高齢者医療特別会計 決算)

全員賛成

歳入総額は1億2008万3000円で前年度対比90万1000円の減、歳出総額は1億1889万9000円で前年度対比127万4000円の減となりました。

**剰余金の処分及び決算の認定について
(平成30年度真鶴町水道
事業会計決算)**

全員賛成

収益的収入は2億3160万7000円で前年度対比574万9000円の減、支出は2億1082万3000円で前年度対比11万円の増となりました。

資本的収入は6112万1000円で前年度対比2142万1000円の増、支出は1億3919万5000円で前年度対比1937万円の増となりました。

青木健 管の総延長とそれぞれの管の延長を伺います。

まちづくり課長 ダクタイル鋼鉄が2万6293メートル、鋼鉄が1万4098メートル、鋼管が1472メートル、石綿セメント管が3487メートル、ポリエチレン管が2829メートル、塩化ビニル管が7965メートル、不明管が2339メートルで総延長は5万8483メートルです。

決算審査 特別委員会

一般会計決算 賛成多数

【歳入】

黒岩 民生費負担金で入所児童徴収金について伺います。30年度迄、保育料を国基準に近づけるために毎年段階的に引き上げていますが、30年度分の引き上げ額はいくらですか。

健康福祉課長 154万3800円が経年の値上げという形になっています。

黒岩 漁港区域内占用料はどこの港で、相手先は誰ですか。

産業観光課長 岩漁港で海の家の利用設置者と1本の電柱使用料です。

板垣 放課後児童クラブの人数は前年に比べ何人の減でしょうか、毎年減少傾向にあるのですか。

健康福祉課長 前年比4名の減で、相対に児童数

平成30年度決算に基 づく真鶴町資金不足 比率について

下水道事業特別会計、水道事業会計ともに、資金不足はないとの報告がありました。

下水道事業特別会計、水道事業会計ともに、資金不足はないとの報告がありました。

9月定例会

減ということもあり、毎年減少になっています。

板垣 幼稚園管外教育の受託児童数と、通園はどこからですか。

教育課長 ひなづる幼稚園児4名で、主に湯河原町からです。

田中 ふれあい農園10区画の内、3区画の使用に留まっている原因と対策を伺います。

産業観光課長 サル、イノシシの有害鳥獣に荒らされます。草刈りやイノシシ対策としてネットフェンスを設置します。

黒岩 お林展望公園パークゴルフ場使用料が昨年より減っているのは何故ですか。その対策はありますか。

産業観光課長 近隣にゴルフ場が出来、利用者が減っています。旅行事業者や町内の団体に利用をお願いしたり、無料招待券の発行などにより、利用者増を考えています。

黒岩 真鶴活性化センターの設備等使用料が昨年より減っているのは何故ですか。

産業観光課長 釣具レンタルが400件減っています。近隣の店が力を入れているようになり、お客が流れたためです。

黒岩 個人番号カードの交付状況はどうなっていますか。

町民生活課長 町の発行数は年度末で延べ1091枚、14・5%です。

板垣 町営住宅の空室状況はどうなっていますか。



ひなづる幼稚園

健康福祉課長 募集を行っています。2部屋が空室です。

黒岩 自衛官募集事務委託金は、どんなものをどこで配布しましたか。

町民生活課長 ボールペンを役場窓口で配布しました。

天野 町有土地売り払い収入はどの土地を売却したのですか。

総務課長 真鶴1947番地の旧日産マリナー跡地と県道を挟んだ向かい側の駐車場です。

黒岩 おさかな号の使用状況を伺います。

産業観光課長 21件の使用で、売上額は116万7000円でした。

田中 シェアリングエコノミー活用推進事業委託金について伺います。

政策課長 30年度全国で14団体の一つに採択され、主に空き家等の未活用スペースを活用しテレワークによる女性の活躍の場を設置。町内でのアンケートを実施、町での働き場所があれば働きたいとの検証が出来たとこ

ろです。

板垣 不用品売却は何を売却したのですか。

総務課長 消防司令車を新しい車にリースしたので、旧消防司令車をネットオークションで売却しました。

板垣 奨学金繰入金、当初予算では6名分でしたが、8名分になったのは希望者全員にということですか。

学校教育係長 応募者は8名で、希望者全員です。

【歳出】
天野 公式ホームページが更新されていませんでしたが、ペナルティーはなかったのですか。

企画調整課長 更新は各担当部署で行いますが、中々追いついていないのが現状です。議会ホームページはトップに表示されるようになりました。

天野 庁内OA化機械借上料267万3060円は、いつまで続く事業ですか。

企画調整課長 庁内で使用のパソコン等は、全て

OA化推進事業で行われますので、業務が続く間は継続されます。今回、事業費が増額した要因は入替機器が多かったからです。

天野 神奈川県町村情報システム共同事業組合負担金が前年度より大幅に増額したのは何故ですか。

企画調整課長 町が行っている基幹系業務、窓口発行業務、財務会計システム借上料を企画調整課の企画費にままとめたこと、システム組合が入れているペントナーの委託業者の変更が増額した要因です。

天野 産業・文化振興事業業務委託料77万6000円の成果を伺います。

戦略推進係長 石彫展準備のための作家との交渉、施設検証、広報戦略等にかかった委託料です。成果は作家との交渉確定、設置場所の検証、広報宣伝物作成などの石彫展の骨格ができました。

天野 空家利活用推進事業改修工事150万1200円の成果を伺います。

戦略推進係長 テックラボのキッチン改修工事を行い、町外からの移住と起業を達成しました。

天野 地方創生プロジェクトマネージャー、247万5136円はどのような成果がありましたか。

政策課長 創生事業調整専門員3名の賃金です。

黒岩 琴ヶ浜研修センター経費の内訳と利用状況を伺います。

総務課長 水道光熱費、警備補償業務、建物共分担金、その他です。利用者は町内33名、町外はタイからの研修270名・龍宮祭100名などを含む609名です。

田中 地場産業人材開拓育成業務委託料、前年を上回る理由を伺います。

産業観光課長 海士町の専門事業者の管理指導で、牡蠣の成功者、創業者の各所先進地の視察研修。海士町から出張8名8回、視察2名2回等の旅費を含めた額になります。

青木繁 お試し暮らし体験事業委託料の内訳を伺います。

質疑応答

9月定例会

政策課長 体験受入れの準備、広報及び終了後の整理片付け等の費用です。
青木繁 サテライトオフィス誘致事業負担金について伺います。

政策課長 未来塾等の運営委員会への負担金です。

青木繁 生きがい事業団で、事業団登録者数は現在何名で、県からの補助金はいくらですか。

健康福祉課長 90名登録されており、補助金額は153万円です。

板垣 メンタルヘルスチェックでの該当者はいましたか。

総務課長 該当者はなかったです。

板垣 インターネットバンキング通信料が前年比で増えている理由と危険性への対応はどうなっていますか。

会計課長 前年度は年度途中から始め、30年度は年間になっています。セキュリティは十分加味し、開始しています。

板垣 PCB廃棄物処理委託料、処分期間が義務付けられていますが、処

理は完了したのですか。
総務課長 一部まだ残っています。大きなものは8034名が利用しています。

天野 老人憩の家管理事業に多額の費用がかかっていますか、将来的に維持していきますか。

健康福祉課長 真崎荘の枯損木の伐倒処理が大きな増額の要因です。今年度の台風15号により破損

していますが、修繕するか別の方策をとるか今後検討し、報告します。

黒岩 プレミアム商品券事業の内訳を伺います。

健康福祉課長 10月から始まる事業の準備のための2名分の人件費です。

黒岩 一人暮らし高齢者等緊急通報システムが昨年より増加しているのは何故ですか。

健康福祉課長 年間367件で65件増えています。原則80歳以上ですが、必要な方には、相談にのっています。

健康福祉課長 町民センター、1・2階の管理事業と一緒にやっていて、教育での町民センター費

と按分しています。年間、個人3326名、団体では8034名が利用しています。

天野 老人憩の家管理事業に多額の費用がかかっていますか、将来的に維持していきますか。

健康福祉課長 真崎荘の枯損木の伐倒処理が大きな増額の要因です。今年度の台風15号により破損

していますが、修繕するか別の方策をとるか今後検討し、報告します。

黒岩 プレミアム商品券事業の内訳を伺います。

健康福祉課長 10月から始まる事業の準備のため

の2名分の人件費です。
黒岩 一人暮らし高齢者等緊急通報システムが昨年より増加しているのは何故ですか。

健康福祉課長 年間367件で65件増えています。原則80歳以上ですが、必要な方には、相談にのっています。

黒岩 学童保育運営補助金の内容を伺います。
健康福祉課長 指導員2名分の人件費です。

天野 し尿処理費の貯留施設整備基本調査委託料54万円はどんな調査を行い、新たな場所は決まっていますか。

町民生活課長 磯崎の貯留槽の老朽化に伴う、場所の選定や施設の規模の調査費です。新たな場所は未定で、今後検討していきます。

天野 水産振興事業は前年より増額していますが、アワビ、ヒラメ等の稚貝の放流数が増えたのですか。

産業観光課長 真鶴漁協33万4800円分、岩漁協25万円分を放流しました。新たに磯焼け対策として人工漁礁3基の設置経費と、網干場擁壁工事の半額を補助しました。

天野 岩漁港周辺グラウンドデザイン策定業務委託料の成果を伺います。

産業観光課長 漁港内で岩ガキ関連施設等、活性化を推進します。

民間の活力も使い漁港施設をより活用できる体制の提案、民俗資料館等も活用し岩地区の活性化

に取り組んでいきます。

天野 真鶴半島グランドデザイン策定業務委託料の成果を伺います。

産業観光課長 今後は総合計画に取り入れ、松の有効活用、お林保全協議会での保全方針、真鶴半島地区のコンセプト、今後目指す姿の方向性が定められたので、それにそ

って施策等を検討していきます。

板垣 観光ポスターと真鶴まつりポスターの掲示場所について伺います。

産業観光課長 真鶴まつりポスターは小田急電鉄各駅とJRの39駅に掲示し、なるべく多くの人に

見ていただけるような場所を選定しています。観光ポスター「幸せをつくる真鶴時間」は町内に配布しています。

板垣 交通安全施設整備工事はどのような所を行いましたか。

まちづくり課副課長 塔の前地区のカーブミラーの設置、真鶴半島内の一方向通行カーブミラーの建

替、サンライズポイント近く石積み上の転落防止柵を補修しました。

板垣 工事場所の決定は町民からの要望を踏まえたものですか。

まちづくり課副課長 自治会からの要望や、危険性を判断して行いました。

天野 真鶴港グランドデザイン策定委託料の成果を伺います。

まちづくり課長 真鶴港周辺のコンセプト、方向性を定めました。真鶴港周辺の魅力の向上、公共施設の再活用による賑わいの創出に取り組んでいます。

天野 真鶴駅周辺グラウンドデザイン策定委託料の成果を伺います。

まちづくり課長 地区のコンセプトとして安全性、利便性、快適性の向上と町の玄関口にふさわしい整備をし、美の基準を活かす。昔ながらの良さを活かしたロータリーの再整備による人の流入誘導、安全で快適に移動でき、賑わいのある駅前という方向性に取り組んでいます。

う方向性に取り組んでいます。

9月定例会

きます。

天野 空家実態調査業務

委託料の成果を伺います。

まちづくり課長 町内を

歩き、空家の状況を確認

しました。庁舎内各課の

調整を定めパブリックコ

メントを実施し、成果物

が完成します。

青木繁 消防団運営費の

各分団への支給方法につ

いて伺います。

総務課長 訓練及び災害

出動の人数を分団ごとに

報告させ、支給していま

す。

青木繁 支給された金額

は、各分団の運営に充当

されていると思いますが、

個々の団員からのクレー

ム等はないですか。

総務課長 それについて

は聞いておりません。

天野 一次救急医療対策

事業委託料511万円の

成果を伺います。

健康福祉課長 町内の診

療所、朝倉医院、大道ク

リニックに休日急患診療

を輪番でお願いしていま

す。内科270名、外科

44名が受診しました。

天野 広域二次病院群輪

番制運営費負担金の成果

を伺います。

健康福祉課長 一次救急

で診ることが出来なかつ

た方たちを次の高度な医

療機関にお願いする時の

輪番制度です。2市8町

で行う運営費の負担金を

人口割で按分された負担

金額です。

天野 休日・夜間急患診

療所運営費負担金の成果

を伺います。

健康福祉課長 7796

名中、真鶴分34名、0・

44%で総事業費の負担額

です。

天野 休日急患歯科診療

所運営費負担金の成果を

伺います。

健康福祉課長 476名

中、真鶴分7名1・47%

で総事業費の負担額です。

板垣 入学祝金支給事業、

町長の公約で町独自の事

業ですが、支出額が当初

予算より少なくなってい

ます。対象者は全員申

請したのですか。

教育課長 全員です。

天野 小学校の植栽手入

委託料、委託業者と実施

回数を伺います。清心園

等が荒れている様子です

が。

教育課長 谷平造園に委

託しています。年1回卒

業式前におこなっていま

す。清心園はなかなか手

が回らない現状です。30

年度は古木の伐採と校庭

南側の伐採を行いました。

天野 中学生グローバル

人材派遣事業補助金の成

果を伺います。

生涯学習係長 29年度ま

で実施されていた海外派

遣事業の代替えで行った

事業で、定員15名のところ

10名の参加で福島県の

ブリティッシュヒルズと

いう研修施設へ派遣しま

した。生徒には大好評で

した。

板垣 募集人数15名に対

し参加人数10名、この点

を感じます。

についてどのように分析

されましたか。

教育課長 この時期は部

活や個人の活動といった

ものがあり、応募できな

かったのではないかと思

っています。

田中 民俗資料館管理事

業で、民俗資料館には貴

重な美術工芸品、漁業・

石材業関連の資料も展示

されています。町の文化

的財産であり、観光面で

も生かされればと思いま

すが、防火対策について

は、どのように考えてい

ますか。

教育課長 現在は消火器

のみの設置です。町の財

産保護の観点から他の機

器の設置、不測の事態に

備えての訓練等の必要性

を感じます。

天野 植木手入業務委託

料、年何回実施していま

すか、雑草等が伸び近隣

の方が草取り等を行って

いると聞いていますが。

生涯学習係長 年2回秋

口と年度末に実施してい

ます。また、夏の始めと

終わりに職員などで行っ

ています。

天野 美術館費の一般職

給料と臨時職員賃金を合

わせるとかなり高額です

が、どのように考えてい

ますか。

教育課長 主査級の職員

が担当になり、単価が上

がったため増額しました。

学芸員1名、事務員1

名が常勤で、受付2名、

保安員1名がパートです。

天野 美術館費の印刷製

本費は開館30周年に製本

されましたが、何部作成

し、どちらで販売し、何

冊残っていますか。

教育課長 30周年記念展

図録を作成しました。2

700部が納入され、残

数は2500部で、美術

館で販売します。

板垣 小学校プール開放

事業、開放日と利用人数

監視員への安全教育につ

いて伺います。

生涯学習係長 開放日は

夏休みの月・水・金で利

用人数は延べ545名で

す。プール監視員は「広

報まなづる」で募集し面

接で採用しました。採用

の条件として湯河原消防

署が実施する救急救命の

講習を受けてもらいます。

着任日には担当職員より、

その日に応じた注意事項

を伝え、任務についても

らいます。

青木繁 岩ふれあい館修

繕料の内容を伺います。

教育課長 湯河原消防本

部より、消防設備、防火

用発電機に要修理の指摘

があり、その費用です。

国民健康保険事業特

別会計（事業勘定）

決算

全員賛成

黒岩 30年度は国保制度

が県に移行する中で、国

から全国で1700億円

の補助があり、それを活

用し1世帯約1万円の引

き下げとなりました。ど



まなづる小学校

質疑応答

9月定例会

のような影響がありましたか。

町民生活課長 平均で一人4947円の減となりました。

黒岩 短期証の内訳を伺います。

町民生活課長 30年度は一カ月証20件、三カ月証9件、六カ月証3件で合計32件です。

黒岩 特定健診について30年度の特徴的取り組みとしてどのようなことが行われましたか。

町民生活課長 人間ドックの利用助成に取り組みました。また、診療所で予約なしの健診ができるようにしました。

黒岩 医療費通知を送ることによって、どのような効果が得られましたか。

町民生活課長 効果は見えにくいところで、現時点では、減ったとか増えたとか言える段階ではありません。

青木繁 人間ドック助成金37万9745円の利用者は何人ですか。

町民生活課長 受診者数は19名でした。

岩本 国保の制度が完全に改正され、1年経過しました。改正されて良かった点、悪くなった点あるいは、現場の声などを伺います。

町民生活課長 県が財政運営の主体となり、保険給付に必要な費用が全額町に支払われます。町民の窓口は町が主体となり、資格管理、税の賦課徴収は町とで役割分担がされてきています。財政が安定化され、予算の見込みが立てやすくなりました。

保険者努力支援制度ができ、町が行った医療費通知、ジェネリック医薬品使用促進通知などの取り組みが評価され30年度は121万8000円が交付されました。課題は保険料率の県内統一に向けて市町村の法定外繰入の差や医療水準の差があることですが、新たな制度は今のところデメリットは見えていません。

青木繁 人間ドック助成金37万9745円の利用者は何人ですか。

町民生活課長 受診者数は19名でした。

決算

質疑なし

全員賛成

真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算

賛成多数

黒岩 真鶴魚座の大規模改修工事の中身を伺います。

産業観光課長 雨漏りの修理で屋根・トップライトまわり・窓ガラス開口部・壁などの防水工事等です。エレベーターの全面改修は都合でできませんでしたが、現在稼働しています。

黒岩 真鶴魚座評価報告書は「良」から「可」最後は「否」になりましたが町の指導はどうだったのでしょうか。

産業観光課長 評価委員会の中でも複数回指導し、運営上の指導も行っていました。

黒岩 町の指導が行き届かなかったのか、それとも相手が拒否したのですか。指導していくべきではなかったのですか。

産業観光課長 要望はありますが、需要がまだあることから、値下げは考えていません。看板、ごみ箱の設置などは改善しています。

産業観光課長 繰り返し指導を行いました。30年度は約束や協定が遵守されず、指定解除となりました。

黒岩 30年度に急に悪くなったのですか。

産業観光課長 29年度までは大きな協定違反はなく、30年度になり、負担金納入等、協定違反がありました。

天野 水産物荷さばき施設使用料が前年度より増になっていますが、原因を伺います。

産業観光課長 電気料金で、使用料の増加によるものです。

天野 電気自動車急速充電器電気料負担金5万円の利用実績を伺います。

産業観光課長 延べ212台です。

天野 魚座店舗貸付料、借主からの賃料値下げの要望はありますか。

産業観光課長 要望はありますが、需要がまだあることから、値下げは考えていません。看板、ごみ箱の設置などは改善しています。

健康福祉課長 生活コーデイネーター、2名の人員費と有償ボランティア

岩本 貸付料収入が当初予算より決算で6万7000円下回っている原因はなんですか。

産業観光課長 当初に1区画の契約変更がありました。店舗の貸付前に排水等改修を行い、そのため一カ月、賃料収入がありませんでした。

後期高齢者医療特別会計決算

全員賛成

黒岩 特例軽減、28年度5割、29年度2割、30年度はなし、影響はどのようにあらわれましたか。

町民生活課長 29年度と比較して2割軽減が廃止されましたが、所得割率や均等割額が減ったため、保険料は大きく変わっていませんでした。

健康福祉課長 4月から介護保険料標準月額が400円上がり、増収となりました。収納率は特別徴収は100%、普通徴収は92・57%で4・68ポイント上がり、徴収、給付とも影響はありませんでした。

黒岩 支え合い分かち合い体制作り委員会補助金の内容を伺います。

健康福祉課長 生活コーデイネーター、2名の人員費と有償ボランティア

水道事業会計決算

全員賛成

黒岩 特例軽減、28年度5割、29年度2割、30年度はなし、影響はどのようにあらわれましたか。

町民生活課長 29年度と比較して2割軽減が廃止されましたが、所得割率や均等割額が減ったため、保険料は大きく変わっていませんでした。

健康福祉課長 4月から介護保険料標準月額が400円上がり、増収となりました。収納率は特別徴収は100%、普通徴収は92・57%で4・68ポイント上がり、徴収、給付とも影響はありませんでした。

黒岩 支え合い分かち合い体制作り委員会補助金の内容を伺います。

健康福祉課長 生活コーデイネーター、2名の人員費と有償ボランティア

水道事業会計決算

全員賛成

黒岩 特例軽減、28年度5割、29年度2割、30年度はなし、影響はどのようにあらわれましたか。

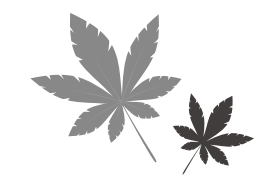
町民生活課長 29年度と比較して2割軽減が廃止されましたが、所得割率や均等割額が減ったため、保険料は大きく変わっていませんでした。

健康福祉課長 4月から介護保険料標準月額が400円上がり、増収となりました。収納率は特別徴収は100%、普通徴収は92・57%で4・68ポイント上がり、徴収、給付とも影響はありませんでした。

黒岩 支え合い分かち合い体制作り委員会補助金の内容を伺います。

健康福祉課長 生活コーデイネーター、2名の人員費と有償ボランティア

水道事業会計決算





森 敦彦
議員

民俗資料館について

問 財政難の中、民俗資料館の土地・建物を町で購入しましたが、その土地・建物について、取得後の改修等を含めた今後の方向性を文化財審議委員会に諮問したと本年3月の予算審査特別委員会で答弁していますので、その審議の状況をお聞かせください。

答 平成30年10月から今年6月まで3回の文化財審議委員会で、岩地区の歴史文化の保護・活用と岩地区の活性化というテーマに基づいた岩地区の歴史文化の保護と活用の基本計画を検討しています。

問 3月の予算審査特別委員会、教育課長は2月に文化財審議委員会に諮問していると発言

していますが、正式な答申が出されたのはいつですか。

答 継続審議中で、答申はまだ出ていません。

問 2月に諮問をしながら半年もかけて答申が出ていないなんてあるのですか。

答 検討中の中には、岩地区の文化財の保護と活用のみならず、真鶴全体を踏まえた考え方が必要ではないかなど、色々な議論が出ています。大きな方向性は出てい

ると思います。

今年度予定されている文化財審議委員会での検討を経て最終的なまとめをいただき、まとめが出た後に町民に計画を示し説明をして意見を聴取してから、その意見をまとめて町の計画とする予定でいます。

問 本来は、高額な3480万円も税金を使って土地と建物を町が取得するのであれば、事前に総合計画等で、様々な意見を聞いてから予算化するのが一般的であり、

予算化してから、どのようにしたら良いのかを考えるのは、いかがなものかと思っています。

答 以前も同じような事を話しましたが、繰り返し返されているので、残念です。

問 所有者の土屋家との話し合いも4年ほど前から少しずつ行いながら考えてきました。活性化のためには、きちんと町の財産としておくのが望ましいとの判断で購入しました。

住民からも前向きな意見も聞いています。

文化財の保護と活用の側面から民俗資料館のことをやっていかなければいけないと思えば教育委員会としても購入の判断をしました。

問 以前現地を見ましたが、明治時代の建物ですから床も傷んでいて危険な状態で屋根も雨漏りを修理したとのことですが、また、門扉が腐食していて、今現在、非常に危険ですので、早急に安全面の手当をお願いします。

一般質問



黒岩 範子
議員

幼児教育・保育の無償化について

問 10月から幼児教育・保育の無償化が開始されます。その中味について伺います。

保育園にかよう3歳から5歳までの園児の保育料は無償化されますが、食材料費（主食分と副食分）はどうなるのですか。

答 食材料費のうち主食費は1000円は年収に

問 食材料費（主食分と副食分）はどうなるのですか。主食費・副食費共に従前より徴収してないので今後も徴収し

せん。

問 0歳～2歳までの保育料無償化は、恒久的な制度となるのですか。

答 0歳～2歳までの課税世帯の保育料の国基準では一子目が現行の保育料、二子目が現行保育料の2分の1、3子目は免除となりますが町独自の約540万円の助成で無償化されます。結果的に真鶴町では保育園・幼稚園に通う全児童の保育料が無償化され、国の抜本的な制度改革等がない限り恒久的に継続します。

問 給食は保育の一環なので、今までは保育料に含まれていたのだから主食費・副食費は無償にすべきではないですか。

答 ひなづる幼稚園はお弁当持参となっております、他との公平性を担保するために出来ません。

問 県には食材料費の補助を、国には食材料費も無償化の対象にするよう要望して下さい。

答 共産党も県・国への働きかけに協力して

駅前跨線橋南側エレベーターの早期実現を

問 多くの利用者が実現を強く望んでいる南側エレベーターは、現在JRと神奈川県の間で設置場所の選定を協議・調整中、前向きに取り組んでいるとの事ですが、今までの状況と変わりますか。

答 JR東日本と神奈川県の間で設置場所が確認され、ボーリング調査も終了し、協議中なので、要望書を出す考えはありません。JRを逆なでしたくありません。国県・JRに直接行っ

てお願いします。





天野 雅樹
議員

地域公共交通システムの改編について

問 地域公共交通システムの改編について平成30年度に地域公共交通協議で協議された実施状況と非常に高い水準の高齢化率の当町で、このまま高齢者の運転免許証自主返納者が増加すれば公共交通の需要は一層高まると予想されますが、今後どのように再編、実施に向けて具体的な検討をおこなっていきますか。

答 会議は合計4回開催し3カ所のバス停を設置、デマンドタクシー実証実験、高齢者の運転免許証自主返納事業、乗り継ぎの円滑のために発車時刻15分の繰り下げ、町民に対してアンケート調査等を実施しました。また以前運行していた10人乗りワンボックス型

ワゴン車の再運行について検討するように指示を出しました。

問 約630万円もの予算を使いこの結果を受けコストパフォーマンスをどのように考えていますか。町内を見れば高齢者が多く「コミュニティバスを何とか改善してほしい」という声を多く聞きますが。

答 公共交通協議に委託し、計画したものが実施へと、どのように向かうかを問いたいと考えています。

問 デマンドタクシー実証実験では利用者が6人と低調な結果でしたが、どのように町民へ周知を行いましたか。

答 町の広報や住民説明会で周知しました。

問 高齢者の多い当町ではデマンドタクシーの認知度も低く、利用方法もわかりづらいと思います。公共交通の整備が必要と考えますが。

答 町民の足は整備したのですが、財政やバス・タクシー会社との

兼ね合いもあります。また私は常日頃から高齢者には健康のためになるべく歩くことを奨励していることから健康促進と公共交通の整備をどのようにとらえていくかを悩んでいます。

問 近年の夏の酷暑で高齢者になるべく歩いてほしいというのは酷な話です。10人乗りのワゴン車の再運航の確率はどれくらいありますか。

答 町民のために良い足となるように前向きに検討していきます。

問 コミュニティバスの定期券の発行は考えていますか。

答 その予定はありません。

問 町民アンケートの回答では運行時間の延長と運行便数の増便が最も多い結果となっています。町民の利便性、観光の周遊性も含め私が提案した小型低速電動バスの導入も併せて再検討し一刻も早く町民の足を改善して下さい。

一般質問



板垣由美子
議員

安心の確保を進めよう！「防災・減災対策の更なる推進について」

問 南海トラフ巨大地震や首都直下型地震の発生が高い確率で予想され、昨年も国内で発生した地震により、大きな被害が出ました。町にあっても地域防災計画の改定など、自然災害への備えを強化しているところですが、町民の生命と暮らしを災害から守る対策を更に進めるために、次の4点について伺います。

①災害時には、自動販売機の飲料水の無料提供がある、災害対応型自動販売機の公共施設への設置について。

②防災意識の高揚のため町民運動会の競技種目に災害時の予行訓練になるようなメニューを取り入れることについて。

③防災ヘリメットの必要性については、中学校には防災活動に参加することを目的に各学級に配備されている防災頭巾と比較検討が必要と考えます。学校の意見を聞きながら、防災頭巾と防災ヘルメットの比較検討を進める中で、検討していきます。

④ペットの同行避難についてのルールは、避難所内への補助犬を除いたペットの持ち込みを禁止する、ゲージ内に入れるかリードで繋ぎ指定場所において飼育する、など真鶴町避難所運営マニュアルに記載してあります。

答 ①災害対応型自動販売機の公共施設への設置についてはケープ真鶴に1台設置しています。今後、公共施設の自動販売機の更新時に設置に努めていきます。

②町民運動会の競技種目の中に災害時の予行訓練になるようなメニューを取り入れることは、防災意識等の向上に効果的であると考え、町民運動会運営委員会に提案していきます。

③防災ヘルメットの必要性については、中学校には防災活動に参加することを目的に各学級に配備されている防災頭巾と比較検討が必要と考えます。学校の意見を聞きながら、防災頭巾と防災ヘルメットの比較検討を進める中で、検討していきます。

④ペットの同行避難についてのルールは、避難所内への補助犬を除いたペットの持ち込みを禁止する、ゲージ内に入れるかリードで繋ぎ指定場所において飼育する、など真鶴町避難所運営マニュアルに記載してあります。

問 関係人口は観光以上に移住未満の関わり方といわれ、地域の外に住んでいる人が地域づくりの担い手となることなどが期待されています。関係人口に対する町の考えを伺います。

答 移住にも繋がる施策として重視しています。町の関係人口作りがNHKの特集番組でも取り上げられました。関係人口作りは真鶴町・活性化プロジェクトから始まっています。町を元気にする事業を立ち上げる中で、関係人口を大切に広げていきたいと思っています。

令和元年 9月定例会 審議結果

会期(9月3日～13日)

議案番号	議 案	採決者数	賛成	反対	議決結果	青木健	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木嚴	高橋敦
発委第2号	決算審査特別委員会設置に関する決議について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は裁決に加わりません
同意第2号	教育長の任命について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第3号	真鶴町固定資産評価審査委員会委員の選任について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第33号	工事請負契約の締結について (令和元年度岩牡蠣出荷施設整備工事)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	工事請負契約の締結について (情報センター真鶴自立・分散型エネルギー設備導入事業)	11	6	5	可	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第35号	真鶴町民俗資料館条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は裁決に加わりません
議案第36号	真鶴町看護小規模多機能型居宅介護施設の設置及び管理に関する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第37号	真鶴町訪問看護ステーションの設置及び管理に関する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第38号	真鶴町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第39号	真鶴地域情報センター条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第40号	真鶴町税条例等の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第41号	真鶴町立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第42号	真鶴町国民健康保険診療所の診療報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第43号	真鶴町岩漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第44号	真鶴町自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第45号	真鶴町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第46号	真鶴町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第47号	令和元年度真鶴町一般会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

審議結果

議案番号	議 案	採決者数	賛成	反対	議決結果	青木健	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木厳	高橋敦
議案第48号	令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第49号	令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第50号	令和元年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第51号	令和元年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算(第2号)	10	8	2	可	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第52号	令和元年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第53号	令和元年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	決算の認定について (平成30年度真鶴町一般会計決算)	10	7	3	認	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第2号	決算の認定について (平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第3号	決算の認定について (平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)決算)	10	8	2	認	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	決算の認定について(平成30年度真鶴町下水道事業特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	決算の認定について(平成30年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算)	10	7	3	認	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第6号	決算の認定について(平成30年度真鶴町介護保険事業特別会計決算)	10	7	3	認	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	決算の認定について(平成30年度真鶴町後期高齢者医療特別会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第8号	剰余金の処分及び決算の認定について (平成30年度真鶴町水道事業会計決算)	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告第5号	平成30年度決算に基づく真鶴町健全化判断比率について				報											
報告第6号	平成30年度決算に基づく真鶴町資金不足比率について				報											
発議第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は裁決に加わりません

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥

※議長(高橋 敦)は採決に加わりません

議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

※議案第34号については、賛成と反対が同数のため議長が採決に加わりました。

委員会等報告

総務民生常任委員会

6月25日

自治会の加入率向上について、正副委員長と自治会連合会正副会長等との意見交換の報告と今後の取り組みについて話し合いをしました。

7月2日

診療所医療機器購入に係る財源について、町長・副町長・教育長が出席の上、各担当課長より説明を受けました。

8月27日

①幼児教育・保育の無償化について
②土砂災害特別警戒区域の指定について
それぞれ執行部より説明を受けました。

委員長 田中 俊一

経済文教常任委員会

5月11日

豊漁豊作祭・岩龍宮祭海と共生し海に感謝する古の祭典、豊漁豊作を祈願する祭典に、委員会として出席しました。

6月11日

委員会を開催し、次の議題を審査

(1)海の学びミュージアムサポート事業、同(博学連携)事業は、貝類博物館の展示事業や教育普及事業である様々なイベントを充実させるもので、海洋教育普及事業を通して海を守ることの大切さを学ぶことにより、毎日の生活の中で海を意識し行動できる人を数多く育成、次世代に豊かな海を引き継いでいくことを目的としています。

同(博学連携)は、学校教育と連携し、町内外の小中学生(場合によっては高校生を含む)を対象に真鶴町の自然を活用して、生命の大切さや真鶴の海の特徴を理解して

委員会等報告

もらう、「海の学校」をより充実させるものです。

(2)給食の放射性物質の検査は、平成24年1月より原発事故の影響を考慮して給食食材の放射性物質の測定を実施してきましたが、本年度より休止し、

今後は大気中の放射線測定値を確認し、震災や事故等によって測定が必要となった場合に再開します。

保護者への周知は終了しており、ご理解をいただいています。

(3)地域公共交通事業
①コミュニティバス運行事業実績は、10%弱の増加傾向にあります。

②デマンドタクシー実証実験は、利用者数が少なかったため満足な結果がえられず、今後に課題を残す結果となりました。

同(博学連携)は、学校教育と連携し、町内外の小中学生(場合によっては高校生を含む)を対象に真鶴町の自然を活用して、生命の大切さや真鶴の海の特徴を理解して

7月23日

地域公共交通の現状と課題について

コミュニティバス運行内容に関する道路運送法上の手続きについて、地域公共交通会議等における協議や関係機関等との事前調整の必要性、運行の安全性、住民や利用者への影響、その他諸手続きの必要性と重要性について、確認をしました。

8月6日

中川一政美術館施設視察

施設職員から施設の現状について説明を受けました。

老朽化に伴う壁面や空調設備、樹木の生長に伴う歩経路の膨らみ等を確認しました。

改善点や補修提案などは執行部出席の委員会では話し合うこととしました。

委員長 岩本 克美

7月11日

岩海岸海開き

海の安全を祈願する神事に委員会として出席しました。

委員会等への出席・傍聴（令和元年6月～8月） 白枠は出席対象 傍聴は自由です。

委員会	開催日数	出席・傍聴	青木 健	森 敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木 繁	青木 巖	高橋 敦
議会運営委員会	5	出席 傍聴		2	4	5	5	5	5	5	5	5	議長はすべての委員会に出席します
総務民生常任委員会	3	出席 傍聴	3	1	3	3	1	3	3	3	3	3	
経済文教常任委員会	3	出席 傍聴		3	3	1	3	3	3	3		1	
地方創生等検討特別委員会	0	出席 傍聴											
議会広報特別委員会	2	出席 傍聴	2	2	2	2		2	2				
広域行政特別委員会 ※湯河原町真鶴町広域行政推進協議会	1	出席 傍聴			1	1		1		1	1	1	
全員協議会	0	出席 傍聴											

その他の議会関連行事(令和元6月～8月) 白枠は議会に出席依頼のあったものです。

月	議会関連行事	開催地	青木 健	森 敦彦	天野 雅樹	黒岩 範子	岩本 克美	田中 俊一	板垣 由美子	海野 弘幸	青木 繁	青木 厳	高橋 敦
6月	開成町あじさいまつり開園イベント	開成町											出
	町民ソフトバレーボール大会	真鶴町											出
	井上よしゆき総決起集会	小田原市											出
	世田谷自然食品来庁	真鶴町											出
	自治会正副会長との打ち合わせ	真鶴町	出					出					
	全国過疎地域自立促進連盟理事会	千代田区											出
	湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会	湯河原町			出			出	出	出	出	出	出
	真鶴町観光協会通常総会	真鶴町		出	出		出	出	出	欠			出
	湯河原町真鶴町衛生組合議会臨時会	湯河原町						出		出	出	出	出
	神奈川県町村等監査委員協議会研修会	横浜市										出	出
	湯河原町真鶴町衛生組合月例監査	湯河原町											出
	例月出納検査	真鶴町										出	
	井上よしゆき事務所開き	小田原市											出
	牧島かれん国政報告会	真鶴町											出
	元消防団長青木雄四郎氏叙勲祝賀会	真鶴町											出
7月	広域農道小田原湯河原線推進協議会	小田原市		出			出	出					出
	井上よしゆき出陣式	小田原市											出
	真鶴町自衛隊協力会総会	真鶴町											出
	井上よしゆき街頭演説会	真鶴町											出
	小田原地方防犯協会総会	小田原市						出					出
	神奈川県町村議会議長会役員会	横浜市											出
	神奈川県町村議会議長会定期総会	横浜市											出
	神奈川県町村情報システム共同事業組合議会臨時会	横浜市											出
	湯河原真鶴美化センター最終処分場完成式典	湯河原町							出	出	出	出	
	決算審査	真鶴町										出	
	岩海水浴場海開き	真鶴町		出	出		出	出		欠			出
	岩兒子神社例大祭	真鶴町											出

その他の議会関連行事(令和元6月～8月) 白枠は議会に出席依頼のあったものです。

月	議会関連行事	開催地	青木 健	森 敦彦	天野 雅樹	黒岩 範子	岩本 克美	田中 俊一	板垣 由美子	海野 弘幸	青木 繁	青木 嚴	高橋 敦
7月	小田原真鶴道路建設促進協議会総会	小田原市					出		出				出
	三重県亀山市議会行政視察来庁	真鶴町											出
	神奈川県町村議会議長会行政視察(島根県邑南町・鳥取県境港市)	島根県他											出
	湯河原町真鶴町衛生組合月例監査・決算監査	湯河原町											出
	真鶴町青少年問題協議会	真鶴町											出
	おざわ良央を囲む納涼の夕べ	小田原市											出
	貴船まつり	真鶴町							出				出
	宵宮イベント「ツートン青木と愉快的仲間たち」	真鶴町											出
	貴船まつり県西地域首長等懇談会	真鶴町					欠	出	出	出	出	欠	出
	例月出納検査	真鶴町										出	
8月	湯河原やっさまつり	湯河原町							出	出	出		出
	大井よさこいひょうたん祭	大井町											出
	岩海岸夏まつり	真鶴町											出
	神静民報社懇親会	小田原市											出
	足柄金太郎まつり	南足柄市											出
	箱根芦ノ湖鳥居焼まつり	箱根町											出
	清川村清龍祭	清川村											出
	丹沢湖花火大会	山北町							出				
	海の町豊漁豊作祭盆踊り大会	真鶴町	欠	出	出	出	出	出	出	出	欠	出	出
	払沢の滝ふるさと夏まつり	檜原村											出
	開智日本橋学園高等学校郊外研修来庁	真鶴町											出
	下郡三町正副議長・県議意見交換会	箱根町							出				出
	例月出納検査	真鶴町										出	
	湯河原町真鶴町衛生組合月例監査	湯河原町											出
	マナ真鶴ハワイアンの夕べ	真鶴町					出						出
	まつだ観光まつり・あしがら花火大会	松田町											出

質疑応答

10月4日
臨時会

10月臨時会は指定管理者の指定、議長・副議長の選挙、監査委員・各委員会委員の選任などが行われました。

 真鶴町看護小規模多機能型居宅介護施設の指定管理者の指定について

全員賛成

真鶴町看護小規模多機能型居宅介護施設の指定管理者を、公益社団法人地域医療振興協会としました。

青木健 緊急で町民が入所した場合、ドクターはどこにいますか。

健康福祉課長 この施設は365日24時間対応で、町内にいます。

青木健 ドクターは何人体制で住所は町内にあります。緊急時にドクターが不在で、救急車呼ぶような事がないよう、その点についての対応は取れていますか。

健康福祉課長 2名体制で、1名は町内、もう1名は小田原にあります。

何かの時はオンコール対応になるかと思っています。

これから基本協定を結ぶにあたり、しつかりした体制を組んでいきます。

青木健 2名体制の1名が町外ということ、町内の1名の医師への負担についてと、町内2つの医療施設との連携についてはどう考えていますか。

 真鶴町訪問看護ステーションの指定管理者の指定について

全員賛成

真鶴町訪問看護ステーションの指定管理者を、公益社団法人地域医療振興協会としました。

青木健 緊急時に遠くのドクターが来られるか不安です。町内に移住する考えはありますか。

健康福祉課長 対応できるドクターがいらない状況は作らないよう、当該法人と調整し、研修等の場合、代わりのドクターが対応できるように体制をとっていきます。

健康福祉課長 対応できるドクターがいらない状況は作らないよう、当該法人と調整し、研修等の場合、代わりのドクターが対応できるように体制をとっていきます。

 真鶴魚座の指定管理者の指定について

全員賛成

真鶴魚座の指定管理者を、「株式会社まゆう」としました。

青木健 緊急時に遠くのドクターが来られるか不安です。町内に移住する考えはありますか。

健康福祉課長 対応できるドクターがいらない状況は作らないよう、当該法人と調整し、研修等の場合、代わりのドクターが対応できるように体制をとっていきます。



真鶴魚座

令和元年 10月臨時会 審議結果

会期(10月4日)

議案番号	議 案	採決者数	賛成	反対	議決結果	青木健	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木巖	高橋敦
議案第54号	真鶴町看護小規模多機能型居宅介護施設の指定管理者の指定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は裁決に加わりません
議案第55号	真鶴町訪問看護ステーションの指定管理者の指定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第56号	真鶴魚座の指定管理者の指定について	10	8	2	可	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席 (遅刻・早退を含む) 除=除斥

※議長(高橋 敦)は採決に加わりません

議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

副議長就任挨拶



田中 俊一

このたび、令和元年10月4日の臨時会におきまして、議員の皆様のご推挙を賜り、副議長に就任いたしました、田中 俊一でございます。

副議長という身に余る大任を拝し、職責の重さを痛感いたしております。

議会は二元代表制を担う最終決定権者であり、期待されるのは、民意がどこにある

議長就任挨拶



青木 健

10月臨時会において、議長に就任いたしました。

今、真鶴町を取り巻く環境は、過疎対策というなかにおいて、非常に厳しい状況にあると思います。

こういった状況を打破するためにも、町民の皆様の御協力と、町民を代表する議会議員の皆様の御協力をいただきながら、行

政と一緒に頑張って、両輪の如く、片輪走行にならないように、しっかりと努めて参りたいと思います。

そのためには、皆様方の御協力を是非ともお願い申し上げます。

又、町民の皆様におかれましても、多くの課題・問題が地区、地区にあらうかと思

います。しっかりと耳を傾けながら、執行部に伝え、是々非々を持って真鶴町の発展に尽くして参ります。

任期の間の、皆様方の御協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

かを競い合う関係の充実です。

議会の活性化を図るうえでも、更なる議員間の議論を活発化させる必要性を感じております。

町民の皆様への負託に日々応えていくという決意を新たに、議長を支え、公正かつ円滑な議事運営に努めて参ります。

今後とも、ご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

真鶴町議会委員会構成表

議長 青木 健

副議長 田中 俊一

令和元年 10月 17日現在

委員会名	委員長	副委員長	委員	
総務民生常任委員会	岩本 克美	黒岩 範子	青木 健 海野 弘幸	田中 俊一 青木 厳
経済文教常任委員会	森 敦彦	高橋 敦	天野 雅樹 板垣由美子	田中 俊一 青木 繁
議会運営委員会	青木 厳	板垣由美子	森 敦彦 高橋 敦	天野 雅樹 海野 弘幸
広域行政特別委員会 ※湯河原町真鶴町 広域行政推進協議会	海野 弘幸	青木 繁	天野 雅樹 青木 厳	板垣由美子
議会広報特別委員会	天野 雅樹	板垣由美子	森 敦彦 岩本 克美	黒岩 範子
地方創生等検討 特別委員会	高橋 敦	森 敦彦	黒岩 範子 田中 俊一 青木 厳	岩本 克美 板垣由美子
監査委員	高橋 敦	湯河原町真鶴町 衛生組合議会議員	青木 健 田中 俊一	森 敦彦 青木 繁

「挨拶・委員会構成表

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和４５年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、４次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和３年３月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和元年９月１３日

国土交通大臣 赤羽 一嘉 殿

神奈川県足柄下郡真鶴町議会議長 高橋 敦

議会報告会開催について

第7回真鶴町議会報告会を、11月19日（火）午後6時より、真鶴地域情報センター1階映像ホールにおいて、開催いたします。

この議会報告会は、真鶴町議基本条例第6条に、基づき開催するもので、町議会の活動について、町民の皆様へ直接ご報告することを目的としたものです。

皆様のご参加をお待ちしております。

議会運営委員会
委員長 青木 厳



会議用マイク



町の花「ハマユウ」

議会を傍聴してみませんか
次の議会は
定例会 12月5日(木) 6日(金) 13日(金)
の予定です。

真鶴地域情報センター・
インターネットでも
議会中継をしています。

公式チャンネル真鶴町

YouTube 真鶴町

🔍 検索

真鶴町議会ホームページ
アクセスはこちらから



議会広報特別委員会

委員長 天野 雅樹
副委員長 板垣 由美子
委員 森 岩 本 敦 克 彦
黒 岩 範